

令和2年6月4日

生徒・保護者 各位

茨城県立八千代高等学校長 高原 康之

## 八千代高等学校における新型コロナウイルス感染症対策の取組について

学校再開時の保健管理について、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～2020.5.22Ver.1」及び茨城県「新型コロナウイルス感染症に係る県立高等学校の学校再開ガイドラインについて」等に基づき、以下のとおり対応いたします。ご理解・ご協力をお願いします。

### 1 感染症対策について

#### (1) 環境への取組

##### 3密（密閉・密集・密着）の防止

##### ①換気

- ・対角の二方向の窓の開放
- ・窓のない部屋は出入り口の開放
- ・エアコン使用時は対角で10センチ程度のドア・窓等の開放と休み時間ごとの換気
- ・体育館等は窓の開放等

##### ②密集・密接を避ける

- ・身体的距離の確保（できるだけ2m、最低1m）
- ・会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- ・近距離での会話や発話等が必要な場面も生じるため基本的に常時マスク着用をお願いします。

\*熱中症等健康被害が発生する可能性がある場合は、換気と生徒間の距離に配慮する。

#### (2) 感染経路対策への取組

##### ①手洗いの徹底

- ・外から教室等に入る場合、トイレ後、食事前後、教材等共有物使用後に行う。
- ・流水と石けんで30秒以上洗う。
- ・手洗いができない場合、アルコールの手指消毒を行う。
- ・洗面所に石けんを常備する、教室入り口にアルコール消毒を常備する。

##### ②マスク着用

- ・日常生活でのマスクの着用を徹底する。

##### ③消毒

- ・共用部分の消毒（手すり、ドアノブ、スイッチ等）を1日1回以上行う。

#### (3) 感染源対策への取組

##### ①検温と健康確認

- ・登校前に必ず検温し、健康確認を行い体温を記録する。
- ・登校後、担任等が健康観察を行う。
- ・家庭で検温できなかった場合は、教室入口の体温計で計測し体温を記録する。

\*発熱等の風邪症状がある場合は、学校に連絡し、自宅で休養する。

\*登校後、発熱等の風邪症状が見られる場合は、保護者に迎えに来てもらい、自宅療養とする。

\*「帰国者・接触者相談センター」等に相談する目安

(ア) 息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさ（倦怠感）・高熱等の強い症状

(イ) (ア)以外で、発熱や咳等比較的軽い風邪の症状が4日以上続く場合

### 2 登下校について

- ・原則としてマスクを着用する。
- ・周囲との間隔を1メートル以上開け、会話を控える。
- ・電車やバスでの通学ではマスクを着用し、定期的に換気を行う。
- ・可能な限り間隔を開けて着席する。難しい場合は会話を控えマスク着用を徹底する。
- ・スクールバス乗車前、発熱がある場合は乗車を見合わせる。

### 3 授業について

#### (1) 机の配置等

- ・対面での配置をせず机の間隔を確保する。
- ・特別教室等で固定式の机で対面となる場合は、可能な限り座席の間隔を確保する。

#### (2) 大声での発言等を控える

- ・近距離での会話や発声等を避ける。

#### (3) 共用の教材・教具・情報機器等の消毒

- ・実験台・器具等は使用前に消毒する。

#### (4) その他

- ・授業前後の手洗いを徹底する。
- ・できるだけ教材器具の貸し借りはしない。
- ・体育は、運動不足や体力低下が懸念されるため、準備運動や整理体操を十分に行うとともに、運動時間や運動強度を調整する。原則としてマスクは不要。
- ・以下の〈例〉にあるような、感染症対策を講じてもなお感染リスクが高い学習活動については可能な限りの感染症対策を行った上で、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにして、回数や時間を絞るなどして、リスクの低い活動から徐々に実施する。

#### 〈例〉

- ・生徒が密集して長時間活動するグループワークや、近距離で一斉に大声を出す活動
- ・理科における近距離で活動する実験や観察
- ・音楽における室内での合唱や管楽器演奏
- ・家庭科の調理実習
- ・芸術教科等での共同制作
- ・体育での生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動

### 4 学校行事について

#### (1) 行事の精選

- ・行事の意義や必要性を確認しつつ、年間を見通して実施する行事を検討する。
- ・感染症予防対策を講じることが難しいものは、中止を含めて検討する。

#### (2) 実施方法や内容の検討、実施時期の設定

- ・開催する時期、場所、時間、方法等について十分配慮する。
- ・修学旅行等の宿泊を伴う行事は、訪問先の自治体の状況を踏まえ、キャンセル料が発生することがないように早い段階での延期や日程短縮、行き先の変更等、または状況に応じ中止も含め選択肢を広げて検討し対応する。

### 5 学校生活について

#### (1) 昼食

- ・食事をする際は、対面にならないようにする。
- ・教室以外の場所も開放し、分散して食事をする。

#### (2) 休み時間

- ・身体が接触しないよう注意し、会話の際は適切な距離を保つ（1メートルを目安）。

#### (3) 図書館

- ・利用前後は必ず手を洗う。
- ・図書館内で密集しないよう、こまめな換気と座席の間隔を確保する。

#### (4) 清掃

- ・換気のよい状況で、マスクを着用して行う。
- ・清掃終了後は必ず石けんを使用して手を洗う。

## 6 部活動について

Stage 1 になった場合、可能な限り感染症対策を行った上で通常の活動を行う。  
他県との練習試合、合宿等については感染状況や競技の特性を踏まえて判断する。

### 【運動部活動の留意事項】

- ・運動不足や体力低下が懸念されるため、まずは体力の回復につながる運動を一定期間行い、徐々に運動時間や強度を増やす。
- ・適切な熱中症対策を講じるとともに、新入生の練習参加には十分配慮する。
- ・活動再開にあたり、生徒・保護者の同意のもと、短時間で効果的な活動の実現に積極的に取り組み、参加については強制しない。

#### (1) 感染症に対する取組

##### ①活動場所

- ・熱中症に注意し、可能な限り屋外で実施する。
- ・屋内で実施する場合は、こまめな換気や消毒液を設置するとともに、長時間の利用を避け、十分な身体的距離を確保し、少人数による利用とする。

##### ②用具等

- ・使用前に消毒を行い、生徒間で不必要な使い回しをしない。

##### ③その他

- ・部室等の利用は、短時間とし、一斉に利用することは避ける。
- ・ミーティングは、密集を避け、人との距離を空けて（1メートルを目安）実施する。

#### (2) 練習試合及び合宿

- ①会場への移動時、更衣室の利用時などスポーツ活動以外の場面も含め、感染症対策を行う。
- ②県外の学校との練習試合及び合宿は、今後の感染状況や競技の特性を踏まえ、万全の感染症対策を講じた上で行うものとする。

### 【文化部活動の留意点】

- ・文化部活動の特性を踏まえ、運動部活動に準じて対応する。

## 7 その他について

#### (1) 抵抗力を高め、感染症予防対策に対する理解を深める。

- ・十分な睡眠
- ・適度な運動
- ・バランスのよい食事
- ・清潔なハンカチ、ティッシュ、マスクを持参する。
- ・毎朝の検温やこまめな手洗い、咳エチケット等健康に関する自己管理能力の育成の機会としてとらえ、社会の一員としての自覚を持つ。

#### (2) 学校再開に当たっての心配や不安への対応

- ・ホームルーム等をとおし、感染者等に対する偏見や差別によるいじめの防止に取り組む。
- ・担任や養護教諭を中心に健康相談等を行います。学校医・スクールカウンセラーも来校します。生徒だけでなく、保護者の相談も受け付けています。来校予定日は、本校ホームページに記載されています。遠慮なく学校までお問い合わせください。